保健だより

令和３年９月１日
No. ５
高岡市立志貴野中学校

新型コロナ（デルタ株）が猛威を振るい、県内はステージ３に引き上げられています。今流行しているデルタ株と言われるウイルスは感染力が強く、不安や心配を抱えて２学期をスタートした人もいると思います。学校では、みなさんが安心して安全に学校生活を過ごせるように、先生方が工夫し、協力し、体制を整えています。全校で力を合わせて、感染予防をしながら、２学期を充実したものにしていきましょう。

今、流行しているデルタ株を知ろう！

①デルタ株の感染力は別次元

今までのウイルスでは、家族一人の感染が分かった場合、何人かは感染しない人がいました。しかし、デルタ株が流行してからは、**家族全員が感染する**ケースが多くなっています。そして、**３密ではない２密や１密の場面でも感染**が起きています。

②デルタ株の体内のウイルス量は１２００倍

デルタ株の感染力の強さは、体内で増えるウイルス量が多いことが原因と考えられています（詳しいことは未解明）。今までのウイルスは、数分の会話なら感染しませんでしたが、デルタ株では**１～２分のマスクなしの会話で感染した人が続出**しています。

③潜伏期間は平均３日

今までのウイルスは、潜伏期間（感染してから症状が出るまで）が平均５日でしたが、デルタ株は、それより**２日間短い**と言われています。感染してからウイルスが排出されるまでの期間が短いため感染が広がるスピードも早く、次々に患者が増えています。

④ワクチンの効果はある

現在、重症化して集中治療室に入院している人たちの９７％は、ワクチンを打っていない人だそうです。重症化している人の中で高齢者の割合が大きく減っており、**ワクチン接種により重症化を防ぐことができています**。

⑤ワクチンは完ぺきではない

２回の接種を終えても感染している人がいます。これをブレークスルー感染と言います。ワクチンによる発症予防効果（無症状で終わる確率）は６４～８８％、**感染予防効果（感染しない確率）は６４～７９％**と言われており、接種を終えても感染する人がいます。アメリカでは、５月に「接種を終えたらマスクなしの生活がＯＫ」となりましたがデルタ株の出現により、接種を終えた人も感染し、他の人にうつす可能性があるということで、７月に再び「接種を受けた人もマスクが必要」となりました。

参考：諏訪中央病院　玉井道裕医師
「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書（デルタ株編）」
www.suwachuo.com./pdf/deruta.pdf　←もっと詳しく知りたい人はこちらを検索！

感染例から学ぶ　～私たちにできること、すべきこと～

国立国際医療研究センターが感染経路不明者に行った調査や岐阜県が公開した感染者の行動履歴によると、帰省、バーベキュー、会食、外食、旅行など、これまで**「感染リスクが高まる」として自粛や注意が呼びかけられていた行動や場面で感染した事例がほとんど**で、新たに注意すべき行動や場面は見当たらなかったそうです。すなわち**デルタ株であっても予防対策はこれまでと同じ**ということです。しかし、デルタ株は今までのウイルスよりも感染力が強いので、気の緩みがあると簡単に感染してしまいます。**今まで以上に念入りに慎重に予防対策を行っていくことが「自分の命を守る」ことにつながります。**

学校では、**マスクの着用を徹底**しています。感染予防には、**鼻と口をしっかり覆う**ことが大切です。マスクから鼻や口が出ている人がいたら、お互いに注意し合い、自分たちの命を自分たちで守っていきましょう。